

患者さんへ

「血液透析患者の下肢末梢動脈疾患と軽度認知機能障害、筋力との関係について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

| | |
|---------------|--|
| 1 研究の対象 | 2017年2月から2017年3月までの期間に当院に通院していた維持透析患者さん |
| 2 研究目的・方法 | <p>維持透析患者さんには様々な血管合併症である様々な血管障害が生じます。高血圧や低血圧による心血管系、脳血管系の血管系合併症、冠動脈や末梢血管の石灰化による虚血性心疾患、末梢動脈疾患を合併しやすいとされます。</p> <p>特に維持透析患者さんによく見られる下肢の末梢動脈疾患と、軽度認知機能障害、筋委縮との関連については報告がありません。</p> <p>そこで、本研究では維持透析患者の下肢末梢動脈疾患の指標となる足関節上腕血圧比(Ankle brachial index: ABI)値と軽度認知機能障害、筋委縮との関連を検証し、維持透析患者の下肢末梢動脈疾患に影響を及ぼす因子について調査することを目的とします。</p> <p>下肢の末梢動脈疾患の診断に用いるABI値で2群に分け、各調査項目の比較を行います。また、ABI値に及ぼす効果の大きさを比較します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後～2022年12月</p> |
| 3 情報の利用拒否 | 情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 性別、年齢、BMI、透析に至った原疾患、透析歴、病歴情報、ABI値、握力、軽度認知機能障害のテスト結果 等 |
| 5 お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 西村 彰紀 湘南鎌倉総合病院・リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p> |